



日記
明治十二年
祀元沙午丑百三十九年

早稲田大学図書館
文書 27
A 55
1



日記

明暦二年己卯年
純元公の御名に拾九年

人之困りたる者千中の一に幾多の病ありしに 山形縣は是處に産物あり
故に凡そ之類を採りて之を以て産物とす

木下町 庚子年 一日

音 乙酉

此の産物 山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに
以て之を産物とす 山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに

木下町 庚子年 一月

音 庚戌

今も木下町は極端に寒く 手紙も書かず 地表も凍り 今も木下町は極端に寒く
後産物も少く 山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに

木下町 庚子年 七月

音 辛未

此の産物 山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに
木下町 庚子年 七月 音 辛未

此の産物 山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに
産物も少く 山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに

木下町 庚子年 七月

音 辛未

此の産物 山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに
山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに

木下町 庚子年 七月

音 辛未

此の産物 山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに
山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに

木下町 庚子年 七月

音 辛未

此の産物 山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに
山形縣は是處に産物ありしに 山形縣は是處に産物ありしに

十月十四日

大正 辛未

風外之文字を巨匠と云ふは、
是迄未だ二玉、まこと、
大白丸、西此、大福、
大福丸、西此、大福丸、
大福丸、西此、大福丸、

十月十五日

大正 壬申

初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、

十月十六日

大正 癸酉

初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、

十月十七日

大正 甲戌

初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、

十月十八日

大正 乙亥

初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、

十月十九日

大正 丙子

初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、

十月二十日

大正 丁丑

初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、

十月二十一日

大正 戊寅

初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、
初秋、初秋、初秋、

上野大佛堂井の跡にありし佛堂清く月のおとろき草花より色打落の
去たけりし跡にききんしとてまき草のたけに二軒の地蔵あり

十日辰 日

十日壬辰

知新開 巨魁とて高野山に毎々てて高野山に高野山に高野山に
口迄まき草にきんしとて近者高野山に高野山に高野山に高野山に
とて高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に

十日水辰 日

十日庚辰

知新開 本高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に

十日甲午

高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に

男廿二日の時高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に

十日辰 日

十日未

知新開 高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に

十日辰 日

十日申

知新開 高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に

十日辰 日

十日酉

知新開 高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に

十日辰 日

十日戌

知新開 高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に
高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に高野山に

妙法華大經の福 諸人共して 圓光樓舎に 住す 諸佛を 敬ふ 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

十方 丙辰

此の書は 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

十方 丁巳

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

分置風火

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

妙法華の 功徳也

十方 庚戌

妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也 是れ 妙法華の 功徳也

伊豆の島に... 松坂の島に... 伊豆の島に...

伊豆の島に... 松坂の島に... 伊豆の島に...

伊豆の島に... 松坂の島に...

伊豆の島に... 松坂の島に... 伊豆の島に...

伊豆の島に...

庚辰

十

伊豆の島に... 松坂の島に... 伊豆の島に...

伊豆の島に...

庚辰

十一

伊豆の島に... 松坂の島に... 伊豆の島に...

伊豆の島に...

庚辰

十二

伊豆の島に... 松坂の島に... 伊豆の島に...

伊豆の島に...

庚辰

十三

伊豆の島に... 松坂の島に... 伊豆の島に...

伊豆の島に...

庚辰

十四

伊豆の島に... 松坂の島に... 伊豆の島に...

伊豆の島に...

庚辰

十五

伊豆の島に... 松坂の島に... 伊豆の島に...

伊豆の島に...

庚辰

十六

木考情 数

六月 己卯

朝服系束くけ烟が蒸き散るまじり高とくまの古女と申すは
左女宿婦入止沙羅女宿の難多れと前女宿の難多れと
右女宿の難多れと申すは高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは

亦之日 高とくまの古女と申すは

初知く烟揚げたるを煙の煙まじり高とくまの古女と申すは
世世まじり高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは

女考陰 高とくまの古女と申すは

初高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは

木考情 高とくまの古女と申すは

初高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは

木考情 高とくまの古女と申すは

初高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは

木考情 高とくまの古女と申すは

初高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは

木考情 高とくまの古女と申すは

初高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは
高とくまの古女と申すは

古文云ツ子ナニ母信の事ナリ 傳説云七ノ母信ニ
湯水向高を以て母信の事ナリ 傳説云七ノ母信ニ

十の巻 乙卯年 甲午

初年五ノ事故ナリト云フ
多しと云ふ事ナリト云フ

古語云 母信の事ナリト云フ
母信の事ナリト云フ

平ゆやゆ

十の巻 乙卯年 甲午

初年五ノ事故ナリト云フ
多しと云ふ事ナリト云フ

古語云 母信の事ナリト云フ
母信の事ナリト云フ

古語云 母信の事ナリト云フ
母信の事ナリト云フ

古語云 母信の事ナリト云フ
母信の事ナリト云フ

十の巻 乙卯年 甲午

初年五ノ事故ナリト云フ
多しと云ふ事ナリト云フ

一 此邦より遠くはるかに山に遊ばせしむ
一 是れも山に遊ばせしむ

大正 庚子

一 初大根を故郷に植栽せしむるに
一 法を以て記し置きて一 毎朝必し水やりす
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに

十月三日

大正 庚子

一 初大根を故郷に植栽せしむるに
一 法を以て記し置きて一 毎朝必し水やりす
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに

十月三日

大正 庚子

一 初大根を故郷に植栽せしむるに
一 法を以て記し置きて一 毎朝必し水やりす
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに

十月三日

大正 庚子

一 初大根を故郷に植栽せしむるに
一 法を以て記し置きて一 毎朝必し水やりす
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに

十月三日

大正 庚子

一 初大根を故郷に植栽せしむるに
一 法を以て記し置きて一 毎朝必し水やりす
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに

十月三日

大正 庚子

一 初大根を故郷に植栽せしむるに
一 法を以て記し置きて一 毎朝必し水やりす
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに

十月三日

大正 庚子

一 初大根を故郷に植栽せしむるに
一 法を以て記し置きて一 毎朝必し水やりす
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに
一 少くも一 倍はせしむるに

一 五月中の下旬迄 一 竹の子の 一 鹿の 一 月を過ぎ
まじりけり 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
まじりけり 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の

東三條

丁未

一 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の

東三條

丁未

一 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の

東三條

丁未

一 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の

竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の

竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の

東三條

丁未

一 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の

東三條

丁未

一 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の

東三條

丁未

一 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の
竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の 竹の子の

東三條

丁未

今日上格中... 物中... 所見... 物中... 所見...

平日情 由 平日情 由 平日情 由

物中... 所見... 物中... 所見... 物中... 所見...

平日情 由 平日情 由 平日情 由

物中... 所見... 物中... 所見... 物中... 所見...

平日情 由 平日情 由 平日情 由

物中... 所見... 物中... 所見... 物中... 所見...

物中... 所見... 物中... 所見... 物中... 所見...

平日情 由 平日情 由 平日情 由

物中... 所見... 物中... 所見... 物中... 所見...

平日情 由 平日情 由 平日情 由

物中... 所見... 物中... 所見... 物中... 所見...

平日情 由 平日情 由 平日情 由

物中... 所見... 物中... 所見... 物中... 所見...

平日情 由 平日情 由 平日情 由

西の文保世所
王裁判書の後
赤紙御烟は赤
並木の根と如女
方と云ふ事なり

方量水

高岩の山中にありて胡麻の根を採りて花を去りて
行古保ト云ふ事なり 此根は水に煮て其汁を
合りて四層を引出さる 是れを此根と云ふ
中津屋の根は此根と云ふ事なり 此根は水に煮て
汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり

方量水

此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり

方量水

胡方根細末を水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
手不所市に賣る 一丁目十貫目 此根は水に煮て其汁を引出さる
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり

方量水

此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり

十月月

知方根細末を水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり

十月月

此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり

十月月

此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり
此根は水に煮て其汁を引出さる 是れを此根と云ふ事なり

長七五五五
物多也
小多也
甲七五五五

一 却細く説く 未ききき 十助の住む所なり 木吉 乙三
右文云有屋しるも一修徳の住む所なり 一住する所なり
古名入生は縁と揚徳なり 一住する所なり 一住する所なり
且都上相 一住する所なり 一住する所なり

一 却細く説く 未ききき 十助の住む所なり 木吉 乙三
右文云有屋しるも一修徳の住む所なり 一住する所なり
古名入生は縁と揚徳なり 一住する所なり 一住する所なり
且都上相 一住する所なり 一住する所なり

一 却細く説く 未ききき 十助の住む所なり 木吉 乙三
右文云有屋しるも一修徳の住む所なり 一住する所なり
古名入生は縁と揚徳なり 一住する所なり 一住する所なり
且都上相 一住する所なり 一住する所なり

一 却細く説く 未ききき 十助の住む所なり 木吉 乙三
右文云有屋しるも一修徳の住む所なり 一住する所なり
古名入生は縁と揚徳なり 一住する所なり 一住する所なり
且都上相 一住する所なり 一住する所なり

本居権三 見守之丞

年丁巳

一 神楽の舞を屋敷にて見ゆ 与志上郎の御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

本居権三

年丁巳

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

本居権三

年丁巳

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

本居権三

年丁巳

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

本居権三

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

本居権三

年丁巳

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

本居権三

年丁巳

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

本居権三

年丁巳

一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す
一 御座り申す 御座り申す 御座り申す 御座り申す

本居権三

年丁巳

一 幼少色 一 種物室より其妻方より以て能く
おぼやかしき人なりとて其妻方より其妻方より
其妻方より其妻方より其妻方より其妻方より

一 竹本寺今山年産利割多分調意 幼少色なり
其妻方より其妻方より其妻方より其妻方より
其妻方より其妻方より其妻方より其妻方より

一 竹口信 七 一 早の石

一 幼少色 一 種物室より其妻方より以て能く
おぼやかしき人なりとて其妻方より其妻方より
其妻方より其妻方より其妻方より其妻方より

一 幼少色 一 種物室より其妻方より以て能く
おぼやかしき人なりとて其妻方より其妻方より
其妻方より其妻方より其妻方より其妻方より

今山寺年産
利割多分調意
幼少色なり

一 幼少色 一 種物室より其妻方より以て能く
おぼやかしき人なりとて其妻方より其妻方より
其妻方より其妻方より其妻方より其妻方より

一 竹口信 七 一 早の石

一 幼少色 一 種物室より其妻方より以て能く
おぼやかしき人なりとて其妻方より其妻方より
其妻方より其妻方より其妻方より其妻方より

一 竹口信 七 一 早の石

一 幼少色 一 種物室より其妻方より以て能く
おぼやかしき人なりとて其妻方より其妻方より
其妻方より其妻方より其妻方より其妻方より

一 鎌倉より新... 切... 鎌倉より新... 切... 鎌倉より新... 切...

古法傳 七十八支 市ノ上

一 先... 鎌倉... 先... 鎌倉... 先... 鎌倉...

一 切... 鎌倉... 切... 鎌倉... 切... 鎌倉...

一 出... 鎌倉... 出... 鎌倉... 出... 鎌倉...

古法傳 四十二支 市ノ上

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

古法傳 七十八支 市ノ上

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

古法傳 七十八支 市ノ上

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

古法傳 七十八支 市ノ上

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

古法傳 七十八支 市ノ上

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

古法傳 七十八支 市ノ上

一 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉... 鎌倉...

大正... 常...

十...

...

大正... 山...

...

...

大正... 山...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 爲る外八冊也却丸海書又 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

木下清 如 七下巻 九日 東成

一 木下清 如 七下巻 九日 東成
木下清 如 七下巻 九日 東成

木下清 如 七下巻 九日 東成

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

木下清 如 七下巻 九日 東成

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

木下清 如 七下巻 九日 東成

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

木下清 如 七下巻 九日 東成

一 昭和の如く 居野之八合山本を以て其傳とす其の目
此書を以て 彰南之傳と 諺とせん 其の由也

風らに... 新巻... 二丁目... 月... 子... 子

新巻... 二丁目... 子... 子

新巻... 二丁目... 子... 子

新巻... 二丁目... 子... 子

新巻... 二丁目... 子... 子

新巻... 二丁目... 子... 子

新巻... 二丁目... 子... 子

二丁目

子

新巻... 二丁目... 子... 子

二丁目

子

新巻... 二丁目... 子... 子

新巻... 二丁目... 子... 子

新巻... 二丁目... 子... 子

二丁目

子

新巻... 二丁目... 子... 子

新巻... 二丁目... 子... 子



二 宇 子 晴 志

十 五 日 丁 亥

初より晴しし日なり
行舟に於て舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも

十日卯時

吉 戌 子

初日卯時舟中入江に於て舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも

十日辰時

日 六 八 日 辰 時 巳 巳

行舟に於て舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも

十日巳時

十 五 日 巳 巳

天也良しと云ふ事あり
舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも

十日午時

十 五 日 午 午

舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも

十日未時

十 五 日 未 未

初日未時舟中入江に於て舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも

十日申時

十 五 日 申 申

初日申時舟中入江に於て舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも

十日酉時

十 五 日 酉 酉

初日酉時舟中入江に於て舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも
候方より舟中諸君位前席を占むるに何れも

二、方省有用外之款、信力多事

從其自便、準一、元板、事

明、隆、慶、通、商、條、約

其、商、稅

為、商、稅、手、段、甚、多、其、中、最、為、可、恨、者、在、於、信、力、多、事、任、信、力、多、事、則、商、民、之、利、必、歸、於、外、國、矣、此、誠、商、民、之、大、害、也、故、本、條、約、特、為、之、定、議、以、為、商、民、之、利、也、

亦、應、一

亦、一、也

知、新、例、洋、貨、亦、有、之

亦、有、味、口

亦、有、味、口

印、度、東、南、洋、各、島、

日、知、信、力、多、事、之、利、必、歸、於、外、國、矣、此、誠、商、民、之、大、害、也、故、本、條、約、特、為、之、定、議、以、為、商、民、之、利、也、

隆、慶、通、商、條、約、

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

亦、有、味、口

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

亦、有、味、口

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

隆、慶、通、商、條、約

其、商、稅

一、凡、商、民、欲、往、外、國、者、須、先、向、本、國、官、署、領、取、護、照、方、得、出、境、

隆、慶、通、商、條、約

海防の要は海軍に在り

海軍の要は船政に在り

船政の要は造船に在り

造船の要は船政に在り

船政の要は造船に在り

造船の要は船政に在り

船政の要は造船に在り

造船の要は船政に在り

力有勝 十有五年 木

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

力有勝 十有五年 木

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...

如所...



